

ふくし ふれあい

CONTACT WITH WELFARE

2012
SPRING
春号
No.55

発行 熊本県労働者福祉協議会 発行者 手嶋一弘 編集者 吉永徹男 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 熊本中央区九品寺1丁目17-9 熊本県労働会館内 TEL 096-372-0915 FAX 096-372-0600

南部労福協
2012年度
通常総会

共助を担う私たちは働く人たちと協力を 労働者福祉南部ブロック協議会の手嶋会長が訴える

九州7県と沖縄県で構成する『労働者福祉南部ブロック協議会（略称・南部労福協）』は、去る2月9日、熊本全日空ホテルニュースカイで2012年度通常総会を開き、来賓、代議員、執行部など約60人が出席しました。

冒頭、南部労福協の満留幹事（鹿児島）が「労働運動、福祉運動、ライフ

サポート運動をいかに地域に広げていくかが私たちの課題、みんなで前進しよう」とあいさつした後、議長に九州労金熊本県本部の江口副本部長を選出しました。

続いて南部労福協の会長を務める熊本県労福協の手嶋会長が「福岡県労福協から引き継いで1年、各県のご協力に感謝したい。九州・沖縄の8県の労福協と福祉事業体で構成しているので、会議の日程を決めるのも大変だったが、各県のいろんな課題、共通する課題に理解と交流が広がった。ライフサポートセンターについては宮崎や沖縄に学んできたが、それらを方針化していく。公助の充実は連合を通じて取り組んでいくが、私たちは共助を担うので底辺で働く人たちと協力しながら、事



▲通常総会に出席した各県代議員の皆さん



▲開会のあいさつをする満留幸一郎幹事業体と連携して活動を創り上げていこう」とあいさつしました。

次に中央労福協の渡辺副会長が「中央労福協は2009年に設立60周年を迎え、翌年に新ビジョン『連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会』を打ち出した。連合は『働くことを軸とする安心社会』を掲げているが、目指すところは一緒だ。東日本大震災で私たちは新たな課題を突きつけられた。私たちの活動も多様性を帯びてきているが、全国津々浦々に労働者福祉運動を広げるとともに、取り組むべき方向と課題に向けて活動の強化を図ろう」とあいさつしました。

また連合九州ブロックの高島代表幹事は「民主党政権が誕生して以降、連合の要望、要請には確実に予算付けができる。連合は経団連に対して、内需拡大のため総人件費抑制をやめて雇用拡大を、と要求している。皆さんとともに運動を展開していくことが連合の責務だ。今年は世界的に政権が動く可能性がある。日本は民主党政権を育てていくことが私たちの責務であり、決して自民党に戻してはならない。東日本3県の復興なくして日本の再建なし、復興にも取り組んでいこう」とあいさつしました。



▲南部労福協
手嶋一弘会長



▲中央労福協
渡邊一夫副会長



▲連合九州ブロック
高島喜信代表幹事



▲熊本県労働雇用課
大谷祐次課長

つしました。

続いて熊本県を代表して商工観光労働部の大谷労働雇用課長が、蒲島知事の「依然厳しい雇用状況が続いているが、九州新幹線の全線開業や、熊本市の政令指定都市移行という100年に一度のビッグチャンスなので、九州各県と連携して九州の発展のために、さらなる活動の展開と発展を祈念します」と祝辞を代読しました。

通常総会は成立を宣言した後、吉永事務局長が2011年度の一般活動、会計決算などを報告し、承認されました。

また、2012年度の活動方針案、予算案も吉永事務局長が提案し、これらは満場一致で承認決定され、2012年度通常総会を閉会しました。

2面に活動方針を掲載

2012年度
活動方針

労働者福祉運動の経験交流や人材育成を

労働者福祉南部ブロック協議会（＝南部労福協）の2012年度の活動方針は吉永事務局長が提案し、承認決定されました。活動方針の骨子は――

【はじめに】①3・11東日本大震災と原発事故は、私たちの日常生活、生き方に大きいものを突きつた。自然の前に科学技術が無力である事実。経済成長は人間の幸せのためにあるもので、手段であって目的ではないこと。使い捨ての消費、エネルギーの浪費を続けてきたこれまでの生活や生き方の見直しが迫られたこと。

②一方で、人への信頼、絆が人間社会にとっていかに大切であったかということの再認識と、支え合い、助け合い、連帯をベースにしなければ、国の様々なシステムも機能しないこと。③今回の大震災で労働組合や協同組合が有効で大きな役割を示したこと。④大震災がもたらした問題、教訓を受けとめ検証し、新たな日本社会創造をめざして、復興・再生に向け協同組合と労働組合が総力で取り組むこと。⑤2012年は「国際協同組合年」、食糧安全保障や金融危機への取り組みなど、協同組合の社会経済開発など活動を広めていこう。



▲吉永事務局長

【2012年度活動の具体的な取り組み】

- ①九州各県の地域を拠点とした暮らしの総合支援事業（ライフサポートセンター）の体制強化と、サービス内容の着実な前進、経験交流、人材養成・研修などのノウハウの蓄積と共有を図る。
- ②労働者福祉運動を担う人材の育成と教育活動に取り組み、労働金庫や全労済などの設立の初心を意識して、理念と運動を若年層に浸透させること。
- ③多重債務、格差、貧困の是正をめざすため「改正貸金業法」をもとに、多重債務防止、消費者教育など、啓発と対策に取り組む。

【継続的な取り組みについて】

- ①中小企業労働者福祉センターの自立と再生に向けた取り組み。
- ②労働金庫の「しあわせ創造運動」全労済の「防災保障設計運動」を中心に、ライフプランセミナー、退職準備セミナーなど、生活応援運動の取り組み。
- ③退職者や高齢者の暮らしに関する不安の解消や、介護・医療制度の充実を求める運動など、ライフサポートセンターの活用、高齢者退職者団体連合との連携、地域の労働者福祉運動への参画。
- ④労働者の総合生活支援、労働者福祉運動や協同事業が社会的な役割を果たしていく基盤づくりのため、国や地方自治体に対して労働者の福祉向上や、



▲2012年度の活動方針案が提案され承認された

福祉行政の充実のために、政策要求や要請について取り組む。

- ⑤中央労福協と連携した研究集会、研修会、次代を担うリーダー育成、労働者福祉運動のOB活用。
- ⑥環境保全、食の安全などの活動。
- ⑦災害救援ボランティア組織づくり。
- ⑧防災・減災の取り組み。
- ⑨九州労働金庫や全労済をはじめとする福祉事業団体など、協同事業団体の利用促進・支援。
- ⑩連合との連携強化。
- ⑪連合九州ブロック連絡会と連携しながら、南部労福協の組織運営、活動の強化と充実を図る。



▲活動方針案などに目を通す代議員

連合熊本労福協共催の第83回メーテーの開催日程

菊池・阿蘇	4月28日(土) 10:00~12:30	阿蘇望の郷くぎの
荒尾・玉名	4月29日(日) 9:30~11:30	グリーンランド(荒尾市)
鹿本	4月29日(日) 10:00~12:00	湯の端公園
熊本	4月28日(土) 10:00~13:00	白川公園(メイン会場)
上益城	4月29日(日) 10:00~12:00	御船町カルチャーセンター
宇城	4月28日(土) 10:00~12:00	宇城市ウイング
天草	4月28日(土) 10:00~12:00	スマイルパーク
八代	4月28日(土) 10:00~15:00	やつしろハーモニーホール
芦北・水俣	4月28日(土) 9:30~12:00	津奈木町総合運動公園
人吉・球磨	4月29日(日) 10:00~12:00	人吉球磨カルチャーパレス

九州ろうきん 5月14日 熊本駅前支店オープン

水道町支店と熊本西支店を統合

いま、熊本で最も注目をされている熊本駅前地域に建設を進めておりました、地上4階建て新店舗「熊本駅前支店」が完成し、いよいよ新築オープンします。

今回の新店舗建築は、市内店舗建物の老朽化や家屋賃貸などの問題を払拭し、取引件数・店舗面積・職員数とともに、熊本支店と並ぶ旗艦店舗となります。



なお、今回のオープンにともない、長年皆様に支えられ、ご利用いただいておりました「水道町支店」「熊本西支店」は5月11日（金）に営業を終了いたします。

今後も、より親しみやすい福祉金融機関をめざし、役職員一同、相談業務や各種サービスの充実を図ってまいりますので、よろしくお願ひいたします。

九州労働金庫 熊本駅前支店

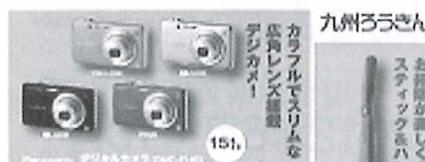
〒860-0047
熊本市西区
春日2丁目3-30
TEL096-322-2440
FAX096-359-8976

九州ろうきん 2012フレッシャーズキャンペーン

2012フレッシャーズ [アンダーサーティー] **U-30**



抽選で
100名さま



くらべて!ろうきん キャンペーン!
4/2 [MON] ▶ 10/31 [WED]



先着&抽選のWチャンスで、フレッシャーズの新生活を応援!

対象者 30歳未満の方、または30歳以上で2010~2012年度に新規採用の方

早い者勝ちでもらえる! ツカエルさんのランチBOX

さらに! 抽選でもらえる! 新生活応援グッズ

キャンペーン期間中、下記のお取引項目のうち2つ以上を新規にご契約いただいた方を対象に先着7,000名さまへ、「ツカエルさんのランチBOX」をプレゼント!



先着
7,000名さま

キャンペーン期間中、下記のお取引項目のうち2つ以上を新規にご契約いただいた方の中から、抽選で100名さまに上記7種類の「新生活応援グッズ」いずれか1つをプレゼント!

詳しい内容は、ろうきん各支店にご確認ください。

キャンペーン対象の
お取引項目

一般財形

財形年金

財形住宅

給与振込

インターネット
バンキング

しあわせ
安心プラン

マイプラン:
モバイルマイプラン

Epiカード

喫煙

■日本は少子高齢化が進み、人口減に転じた。地方の農山村の人口減少は特に著しい。東京、大阪だけでなく地方の県でも一極集中が進んでいるため、郡部は深刻だ。しかも労働法の規制緩和が進められたことから、非正規雇用の労働者が1700万人と労働人口の34%を占めるようになった。年収200万円以下の派遣、アルバイト、パートなどの労働者が増加したし、低賃金のため結婚もできないという。また年金なども昔は高齢者を10人以上の現役が支える「おみこし型」から、3人で1人を支える「騎馬戦型」となり、このままいけば1人が1人を支える「肩ぐるま型」になるといわれている。



出生率を上げないと…

非正規雇用労働者の皆さんのが高齢者になったとき、日本の福祉はどうなるのか。結婚できないという収入のため、出生率も再び下がると危惧される。手を打たなければ悪循環が深化していく。■ところがフランスでは社会党政権の政策で出生率が上がっているという。出産や子育てを国が支援している。なぜ? フランスでは労働分配率が日本やアメリカと違って高いことが、福祉政策を充実させている。

■日本の大企業の内部保留は200兆円といわれている。これらは労働者の汗の結晶なのだが、非正規雇用の社員は人件費でなく物件費で扱われていたという。200兆円の1~2割にあたる20~40兆円を労働者の賃金に回しても大企業はびくともしないと思うのだが…。

思わぬ「もしも」に。
けがと賠償に備える
保障が新登場。

お申し込み、お問い合わせは

熊本県本部

☎ 096-372-0631



NEW

傷害安心タイプ

安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・老年定期生命共済・傷害共済・個人賃貸責任共済・終身生命共済・個人医療生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいだ組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は
「ご契約のてびき（契約概要・注意喚起情報）」等を必ずご確認ください。

医療法人社団
熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

■診療科目／内科、小児科、神経科、リハビリテーション科

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

受付

午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00

午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00
土曜日／1:30～3:00

※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は
鍼灸はお休みです。

休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田3441-20 ☎ 368-6007

ユニオントラベル熊本からあなたへ

緑の大地

北海道

記念企画を多数ご用意!

2名様より出発保証日を多数ご用意!

現地添乗員同行
2012年6月～10月
九州各地発着

メイト40周年記念

富良野・美瑛を巡る

旭山動物園と名湯登別温泉 [3・4日間]

・1日目基本プラン ・2日目札幌市内宿泊プラン
・福岡空港発着基本フライト

■お一人様 79,800円～148,800円

花々か咲き誇るベストシーズン

輝く大地 富良野・美瑛 [3・4日間]

・1日目・2日目基本プラン
・福岡空港発着基本フライト

■お一人様 84,800円～142,800円

6日間の北海道横断の旅

カムイ

・九州各地空港発着

・層雲峠温泉・知床ウトロ温泉・阿寒湖畔温泉

・定山渓温泉・湯の川温泉

■お一人様 198,800円～355,800円

その他、多数ございます。詳しくはお問い合わせください。 主催：近畿日本ツーリスト

お問い合わせは



生協 法人 **ユニオントラベル熊本** TEL(096)371-2022
FAX(096)363-2866

熊本中央区九品寺1丁目17-9 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 松永裕子

編集後記

大震災以降、仮設住宅や借り上げ住宅で暮らしている被災者は34万人以上、福島原発事故による福島県内の避難者は16万人となっている。

一方、がれき処理が進まないため、復興プランが県・市町村の処理計画通りに進まず、復興どころか復旧もできていない状態だ。

しかし、このような大変厳しい環境下だからこそ、労福協として何をすべきなのか、もう一度原点に立ち返ろう。

「連帯・協同でつくる安心、共生の福祉型社会」を目指すために、ライフサポート活動の充実や、労働者福祉運動の基盤強化に取り組み、労働団体と事業団体がこれまで以上に連携を図り、震災からの早期復興・再生に向けて、地域社会に貢献していく活動を展開していかなければならない。(T・Y)